

株式会社ハーバー研究所

平成24年3月期 第2四半期決算説明会



平成23年11月28日

本資料に記載されている業績予想・及び将来の事象に関する記載は、現時点での見通しであり
経済・事業環境の変化など様々な要因により変動することがございますのでご了承ください。

今期業績および見通しの前提(連結/累計)

1. 株式会社エイチプラスビー・ライフサイエンスの連結子会社化
 - (1) 6月に株式会社エイチプラスビー・ライフサイエンスの買収を完了
 - (2) 貸借対照表ベースでは、第1四半期末から連結化
 - (3) 損益計算書ベースでは、第2四半期から連結化

2. 販売子会社について
 - (1) 販売子会社全7社の100%子会社化
販売会社の統合に向け、販売子会社全社の100%子会社化を完了
(5月中部ハーバー、8月京都ハーバー)
 - (2) 販売子会社7社のうち、6社を吸収合併(10月1日付)

3. 買収および販社合併の効果
来期以降の実現に向け、以下の課題に取り組む。
 - (1) 株式会社エイチプラスビー・ライフサイエンスの商品戦略、営業体制の構築、ハーバーとの一体化
 - (2) 販社営業からハーバー研究所による地域営業戦略への発展的な移行
 - (3) 受注・発送の拠点整備、管理業務の効率化

第2四半期業績の総括(連結・累計)

百万円

	平成23年3月期 第2四半期		平成24年3月期 第2四半期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金額	増減率
売 上 高	5,487	100.0%	6,045	100.0%	558	10.2%
売上総利益	4,470	81.5%	4,640	76.8%	170	3.8%
販 管 費	4,637	84.5%	4,445	73.5%	▲191	▲4.1%
広告宣伝費	847	15.4%	499	8.3%	▲347	▲41.0%
販売促進費	990	18.1%	967	16.0%	▲22	▲2.3%
(計)	(1,838)	(33.5%)	(1,467)	(24.3%)	(▲371)	(▲20.2%)
営業利益	▲167	▲3.0%	194	3.2%	362	—
経常利益	▲185	▲3.4%	185	3.1%	371	—
四半期純損失	▲275	▲5.0%	▲16	▲0.3%	258	—

グループ連結売上高は、卸売を中心とした(株)H+Bライオンの実績を第2四半期より連結経営に反映させた。卸売の売上比率の増加により売上原価は前年比138.1%。広告媒体の集約による広告販促費の減少により増益。最終利益は本社移転に伴う固定資産除却損等25百万円の特別損失計上、赤字子会社の存在等により▲16百万円。

販売形態別実績(連結/累計)

百万円

	平成23年3月期 第2四半期		平成24年3月期 第2四半期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金額	増減率
通信販売	3,843	70.0%	3,867	64.0%	24	0.6%
百貨店向卸売	596	10.9%	586	9.7%	▲10	▲1.7%
その他卸売	563	10.3%	1,138	18.8%	575	102.0%
直 営 店	411	7.5%	385	6.4%	▲26	▲6.4%
小 計	5,415	98.7%	5,978	98.9%	562	10.4%
ハーバーガーデン等	71	1.3%	67	1.1%	▲4	▲6.0%
合 計	5,487	100.0%	6,045	100.0%	558	10.2%

- ・通信販売は購入単価が増加、卸売主体のH+Bライフサイエンスを第2四半期より連結反映。
- ・インターネットの売上高は、808百万円（前年同期比111.0%）で通信販売の中で占める比率が、前年同期間の18.9%から21.1%にアップ。

※ 百貨店の店舗数は、44店舗。（3月末比+3、なお9月以降5店閉鎖）

※ 直営店の店舗数は、27店舗。（3月末比▲2）

品目別売上高と構成比（連結/累積）

百万円

		平成23年3月期 第2四半期		平成24年3月期 第2四半期		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金額	増減率
化粧品	基礎化粧品	3,611	65.8%	3,617	59.8%	6	0.2%
	メイクアップ化粧品	596	10.9%	668	11.1%	72	12.2%
	トイレットリー	280	5.1%	275	4.6%	▲5	▲1.8%
	その他	93	1.7%	67	1.1%	▲25	▲27.4%
	計	4,582	83.5%	4,630	76.6%	48	1.1%
栄養補助食品・雑貨等		833	15.2%	1,347	22.3%	514	61.7%
ハーバードガーデン等		71	1.3%	67	1.1%	▲4	▲6.0%
合 計		5,487	100.0%	6,045	100.0%	558	10.2%

1. スペシャルケア商品の減少によりスキンケアは横這い。
2. メイクアップ化粧品はベースメイク、ポイントメイク共に増加。
3. H+Bライフサイエンスの主力商品が食品（病院食など）のため栄養補助食品・雑貨等が増収。

連結貸借対照表

百万円

	2011年3月期	2011年9月期	増減
流動資産	6,435	7,837	1,401
現預金	3,177	3,744	566
棚卸資産	1,711	2,093	381
固定資産	6,204	7,228	1,023
有形固定資産	5,069	5,608	539
無形固定資産	584	1,168	584
総資産	12,640	15,066	2,425

流動負債	4,739	6,508	1,769
固定負債	2,614	3,387	772
純資産	5,286	5,170	▲116
資本金	696	696	0
その他株主資本	4,569	4,474	▲95
負債・純資産合計	12,640	15,066	2,425

平成24年3月期の連結業績予想

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり当期 純利益 円銭
通期予想	13,400	850	800	600	152.52
(ご参考) 前期実績	11,809	660	626	22	5.62

1. 本年6月に株式会社エイチプラスビィ・ライフサイエンスの買収を完了
2. 10月に当社販売子会社7社中、6社の吸収合併を完了。
3. 当期純利益は吸収合併子会社より承継した繰越欠損金の利用を見込む。
4. 販売子会社吸収合併による業務効率化について
 - (1) コールセンターの統合
全販社に設置していたコールセンターを全国2ヶ所に統合
 - (2) 物流拠点の統合
全販社に設置していた物流機能を子会社のハーバーコスメティクスに集中し、全国2ヶ所に集約

今後の施策

1. グループ営業体制の再構築・営業力強化と業務効率化。
 - (1) 信州製薬(株)は主力製品の瓊玉膏の販売強化並びにOEM事業の強化。
 - (2) (株)エイチプラスビー・ライフサイエンスは既存商品の改良・新製品開発と営業力の強化、ハーバーとの一体化。
2. 当社美容理論の原点である「洗顔」「うるおい」「保護」の3ステップと化粧品の正しい使い方を明確に発信し、顧客数の安定的増加を実現する。
3. 効率的な広告展開・インターネットの活用による新規顧客獲得を図る。
4. 「K&K生命科学研究所」を中心に、大学や研究機関との共同研究や、化粧品、食品などの開発体制を充実させ独自の高機能商品を開発する。
5. 海外市場の拡大と開拓。